

波 紋

8

第十回全体会議

テーマ

《如何にして利益をあげるか》

現在の世界的な経済不況の波と円高の波をかぶって森松も厳しい状況です。そこで今回の全体会議は、このテーマで行われました。

第一日目は会社のさまざまな経費が、オープンされ皆一様に驚きの声、それぞれ反省と共に考えさせられました。

第二日目は営業・配送グループ、製造グループ、内務グループと、三つの班に分かれそれぞれ意見を出しあい、まとめ発表しました。まず話し合われたことを大別すると

(a) 仕事のやり方
(b) 経費の節約
(c) 新商品の

尚今回は特に(a)についてのみ発表しました。

◎営業・配送グループ

- ・販売力強化のため営業マンを増やし、育成する
- ・ムダをなくすため徹底的な見直しをする

◎製造グループ

- ・如何に良い商品を、より早く、より安くできるかを常に考え作業する
- ・森松独自の製造技術を確立し、研究し続ける

◎内務グループ

- ・気持ちよく信頼しあつて仕事を進めていく為に(報・連・相)を徹底する

この試練の時をステップにして、会社も、個人も一回り大きく成長できるようにがんばりましょう！

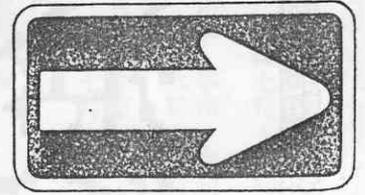
六人羊左点

「新人類に負けないぞ」

「森松」は若い会社である。経理部長は、独身でまだ若い。社長より歳下に見える。森部長が入社した、(昭和三十七年四月)この世に誕生していなかった人が、社内には十三名居るので、総社員二十五名の過半数である。これは(ヤングパワー)大変に財産だと思ふ。どんなにお金を持っていても、若さは買えない。若いということは、可能性が「大」という事。何でも挑戦できるのだ。

目標を持ち、計画を立て、実行すれば、やりたい事はなんでも出来る歳なのだ。昨年入社した岩間君、時見君、富田君、永井君も入社した時と最近の行動を見比べると、格段の差があります。私達旧人類と言われている者も新人類に負けない様に、積極的に行動し、実行した

N・M



「白覚」

一人一人がやる気になればもう
かかる。一人一人がやる気がないと
つぶれる。

どうやってやる気を起こさせるか
は、上に立つ人の問題である。上
の人だけやる気になっても一人は
やはり一人の働きしか出来ない。
現時点での売り上げ利益をオーブ
ンにして、一人一人の役割を自覚
させる。

だから、もうかっている時は全員
に配当していたが、もうかっている
ないから払えませんかとは言えない
じゃあどうするか。もうかる様に
はどうすればいいかを一人一人が
全員が常に考えるって事。

全員が危機感を持ち、全員が夢を
持つ。こうなる事が経営者の夢で
ある。若い人が多くて良いですな
と言われたりがありがとう御座居ま
すね。終わっているのはもうからな
い。若い、やる気のある人が多いで
すねといわれる様に、がんばろう。

木村英利

メーカー紹介

祐一ビニール株式会社
清水護雄

当社は昭和三十四年、現在地である
東京都荒川区町屋に於いて軟質塩化ビ
ニールのプレス加工業としてスタート
し、その後昭和四〇年にカレンダー機
を導入し現在の再生シート生地製造業
に至っております。

現在、関東地区では、約十二社程度
の再生シートの製造業者が居りますが、
この中でも中部地区に關しましては、
森松(株)皆様のご努力に依り関東業者と
致しましては格別のお取引を頂き有り
難く思う次第で有ります。

さて、当社のような業者は融通性が
最も大事なポイントであり、現在のよ
うな多品種少量生産、さらには高品質
(高品位)製品化の時代に於いて更に
その融通性が求められるものと思われ
ますので、今一層の努力を持ちまして
自信をもってお勤めできる製品造りを
第一の目標とし、森松(株)皆様、更には
ユーザー様のご満足を得たいと思いま
す。

最後に当社の再生シートに対する考
え方ですが、とかく、再生だからと言
う逃げ道を設け品質等の価値設定に対
して比較的安易に考える傾向がある様
に思われますが、当社と致しましては
森松(株)皆様、更にはそのユーザー様の
厳しい品質要求、ご指導が再生シート
であるという安易さを取り除き、今以
上の品質向上と新たな用途の拡大へと
展開していく物と思っておりますので、今後
とも宜しくお願い致します。

職場坦場

私達の多くは、会社・商店などで
働いています。一日のうちの多くの時
間を職場で過ごします。職場は、そこ
で働く人にとつて、生活の基盤です。
又、生きがいとなる場でもあります。
それぞれ縁があつてこの職場で働い
ています。働く以上は、円満な人間
関係を築き喜びを以て仕事と取り組
んでいきたいと思ひます。
そして仕事を通して自分自身をみが
き、人間としての質を、高めること
が出来たらどんなに素晴らしいこと
でしょう。

円満な人間関係を築くには、まず、
あの「ホウ・レン・ソウ」が大切で
す。報告・連絡・相談・・・を心が
ける。そういう心の姿勢が、上司や
他の人に安心を与え、信頼を高める
こととなります。頼まれたことに對
する報告がないと、頼んだ人は不安
で仕方がない、頼んだ人がやれな
いか、ダメだったのか? イライラ
していると思ひます。長期にわたる
仕事の場合も、中間報告が必要で
す。予期しないトラブルが起こつたら、
直ちに報告すること。又、報告しな
ければその仕事は終わつていないと
同じことです。又、いろんなことを
注意してくれる人も、その人が憎い
から口うるさく注意しているのでは
ありません。少しでも早く一人前
にしたいと考へて、言つてくれると
おもいます。親だつてそういう氣持
で、子供を叱つたり注意したりして
憎んでしまつたらおかしいです。
そして又、人は誰でもいろいろな恩
を受けています。両親はじめ数え切
れない位です。
職場では、先輩や上司からあれこれ
アドバイスをもらつたり、同僚から
なくさめられたり、あるいは取引先
から教えられたりして、一人前な
つていきます。まずそういう恩に感謝
することが大切だとおもいます。

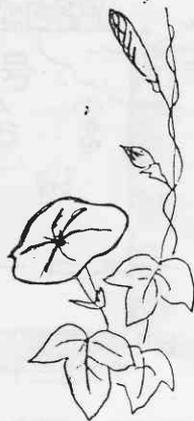
(地図ボード) 完 成

森松は、常にお客様に対して
サービスとは何かを考へ、改善
出来る点はないかいろいろ工夫
しております。

その一つに今回、写真の様な地
図ボードを作りました。それと
いうのも、特にデンワの應對に
出る内務の人間は、わが社のお
得意様の場所を殆ど知りません
よくお客様から「サンブルがあ
るから寄つて欲しい」とか、亦
社内で営業マンから「何処其処
で製品を引き取つて来て欲しい
けど・・・」等々。

あの人はあそこへ行く予定だか
らいけるな〜とか、こちらの配
送コースなら寄れるのでは・・・
とか、結構重宝しています。
そして夢はお客様の印でいっば
いになり、もっともつと大きな
地図が必要になります様にです。





季節の中で

朝日をうけた小鳥のように
目覚めを告げている季節の流れ。
あなたの為につくしてきた季節も
いつかあきらめと共に過ぎ去って
あなたの為に別れる時がきた。
旅をする事でそれを教えられ
別れを告げることで
長い旅を終えた。
愛する時に道が与えられなくても
二人の愛が光をくれた。
愛した後光がなくても
二人で書き終えた物語がある。
夢を追いかけた冒険も
それ自体が夢だと知ってしまった。
幸せを自分で決める事を覚えた。
すべてが他人の人ごみの中で
何かを見つめながら
季節についていこう
人の生きざまに例えはないから
それでもいいだろう。
季節の流れはつきることなく
愛は常に終わりをもってはじまる。
悲しみはいつも誰もにつきまとい
楽しい出来事は見つけにくい。
そんな季節の中で
誰もがそうだけど
愛を失う事に慣れることはないのさ。

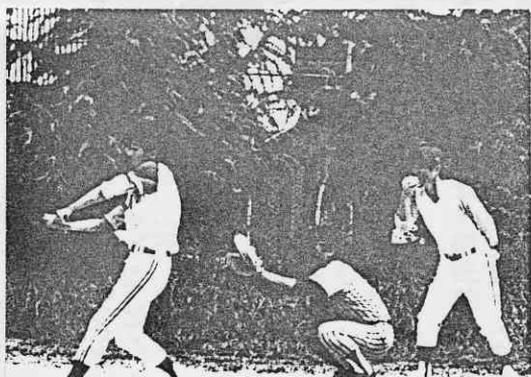
闇のポエムニスト

『無敵』
森松野球部 またもや
記録を更新

日時 七月二十七日(日)
場所 リノール球場
結果 下記の通り
対戦相手 「東海オフィスマーシオン」

結果的には、負けてしまいました
が、まさに「シーソーゲーム」
で四回までは白熱したゲームでし
た。だれもが「今度こそ勝った」
と思った程です。
ユニフォーム、がっちりとした身
体つき・・・どれをとっても、
モーリンは勝つ要素がなかったの
ですが、試合を重ねるにつれ、好
調子、好試合をやっているので、好
次回はきつと記録はストップする
でしょう。すこしずつ練習をして
必ず一勝します。

伊東郁二



	1	2	3	4	5	6	7	計
モーリン	1	2	1	1	0	0	0	5
東海	2	1	1	3	1	1	/	9

マコのものしり
コーナー

F M放送とA M放送

ラジオのF M放送は、普通の放送よりも音質がよく、他の放送と混信したり、雑音が入ったりしないので、音楽放送にはぴったりです。

F Mとはフリッケンシー・モジュレーション、つまり波の振動数変調の略名です。これに対し普通の放送はA Mと呼ばれています。アンプリチュード・モジュレーション、つまり波の振幅変調の略名です。

ラジオ放送は音の変化を電波の変化に変えて、空間を伝わって放送されます。このとき、電波の変化を波の幅、つまり振幅の大小の変化にするのがA M放送です。ですから、A Mの電波は、振動数が一定で、振幅が異なる波になるわけです。これに対してF M放送は、電波の振動数、つまり周波数の多い少ないを利用して信号を送ります。ですから、F M放送の電波は、振幅が一定で、振動数が異なる粗密波になります。

F M方式のほうがA M方式よりも音声の微妙な変化に應じることができ、したがって放送される音が一段とデリケートなものになります。

ちなみに、F M方式で電波が送られているのは、ラジオの音楽放送だけではありません。実はテレビ放送もF M方式を使っているのです。

